

資 料

## 仙台大学学生のスポーツ傷(障)害調査結果

佐 藤 捷 (リハビリテーション医学研究室)  
佐 渡 一 郎 (健康管理センター)  
内 野 秀 哲 (情報処理室)

### 目 的

われわれは仙台大学学生のスポーツ障害歴と、それをとりまく背景や自己健康管理に関する実態を把握しようと考えた。このことは、スポーツ障害に関する予防や、より良い管理を考えていく際に重要な土台となると思われるからである。

### 方 法

#### 1. 調査対象

仙台大学に在学する、1,323名の学生。

#### 2. 集計方法

OCR用解答用紙を作成し、これに解答してもらいコンピュータにて読みとり、集計、分析をした。

#### 3. 実施時期

1993年12月。

### 結 果

主な結果は表1～6，図1～2のとおり。

表 1. 調査対象学生の内訳

学生総数	1 3 2 3 名
1 回生	3 2 6 名
2 回生	3 6 4 名
3 回生	2 9 8 名
4 回生	3 3 5 名
調査回答者総数	9 3 9 名 (回収率 7 1 %)
	(男 7 3 1 名, 女 2 0 8 名)
1 回生	2 2 0 名
2 回生	2 3 7 名
3 回生	2 2 2 名
4 回生	2 5 9 名
クラブ所属人数	8 2 3 名 (8 8 %)
クラブ非所属人数	1 1 6 名

表 2. 大学入学後の傷害・障害歴

解 答	回答者数	回答率
1. は い	4 7 0	5 0 %
2. いいえ	4 6 7	4 9 %
無 解 答	2	0. 2 %
合 計	9 3 7	9 9 %

表 3. 部位非限定でみた傷(障)害の種類

(N = 5 4 5)

解 答	回答者数(のべ数)	回 答 率
1. 骨 折	3 8	7 %
2. 疲労骨折	7	1 %
3. 骨 膜 炎	7	1 %
4. 関 節 炎	2 0	4 %
5. 脱 臼	2 5	5 %
6. 亜 脱 臼	1 7	3 %
7. 捻 挫	1 2 4	2 3 %
8. 靭帯損傷	4 9	9 %
9. 筋腱挫傷	5	0. 9 %
1 0. 肉 離 れ	3 0	6 %
1 1. 打 撲	1 9	4 %
1 2. 挫 創	4	0. 7 %
1 3. 擦 過 傷	3	0. 6 %
1 4. 炎 症	3 1	6 %

表 4. 応 急 処 置 (N = 5 4 5)

解 答	回答者数(のべ)	回答率
1. R I C E 処 置	9 4	1 7 %
2. 安 静	1 6 7	3 1 %
3. 冷 却(アイシング)	2 9 5	5 4 %
4. 固 定	9 6	1 8 %
5. 圧 迫	3 1	6 %
6. 挙 上	1 5	3 %
7. 温 熱	2 2	4 %
8. 消 毒	8	1 %
9. 止 血	6	1 %
1 0. テーピング	8 0	1 4 %
1 1. ひっぱる	1 1	2 %
1 2. なにもしない	7 6	1 4 %
1 3. そ の 他	1 9	3 %

表 5. 最終的な処置

解 答	回答者数(のべ)	回答率
1. 健康管理センターへいった	1 1	2 %
2. 病院へいった	2 7 1	5 0 %
3. 入 院 し た	3 0	6 %
4. 通 院 し た	1 1 2	2 1 %
5. 自分でなおした	7 3	1 3 %
6. トレーナーなどによる管理のもとに治した	1 2	2 %
7. なにもしなかった	2 9	5 %
8. そ の 他	7	1 %
無 回 答	0	0 %
合 計	5 4 5	1 0 0 %

表 6. 傷(障)害の慢性化の有無

解 答	回答者数(のべ)	回答率
1. は い	3 1 0	5 7 %
2. い い え	2 3 4	4 3 %
無 回 答	1	0. 2 %
合 計	5 4 5	9 9 %

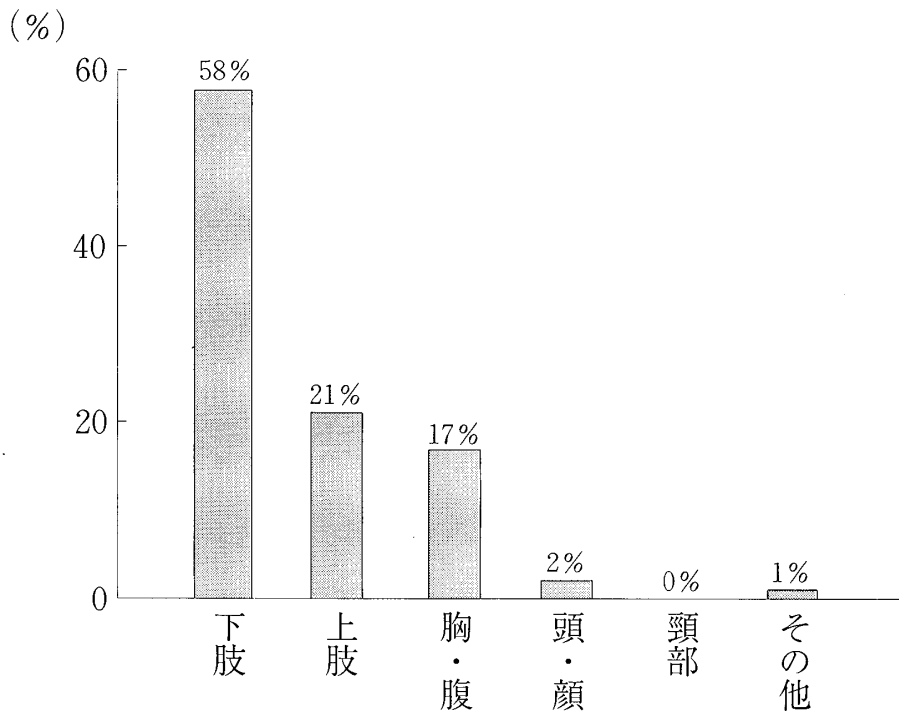


図1. 傷害・障害の部位別頻度 (N = 5 4 5)

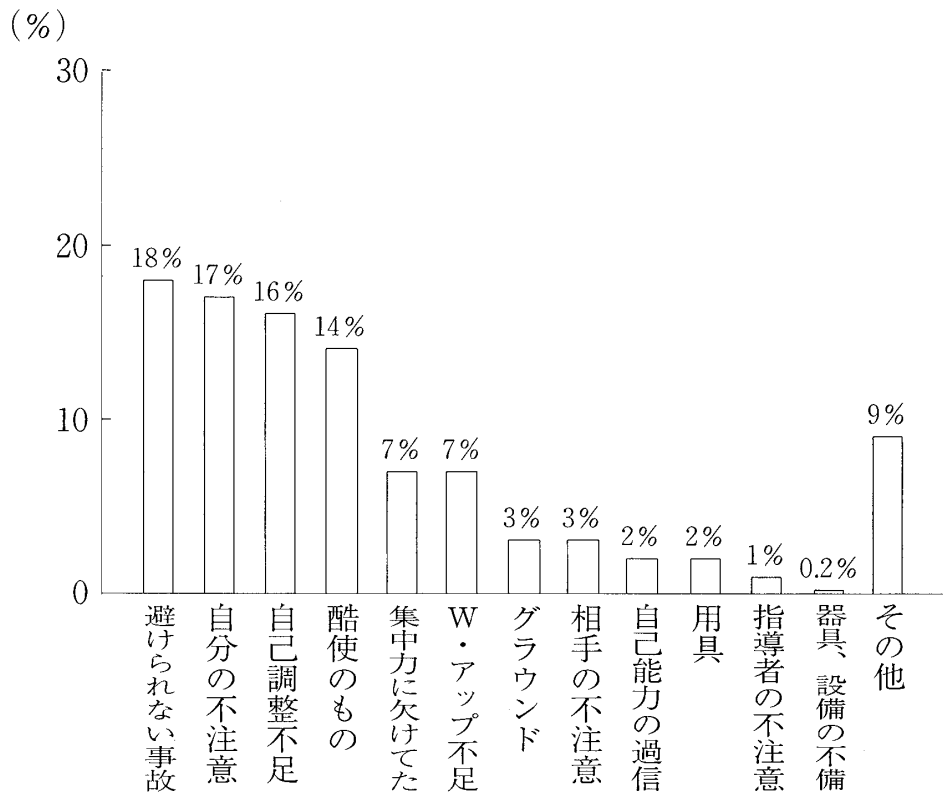


図2. 原因 (N = 5 4 5)